



The logo for GMO INTERNET features a stylized 'G' composed of two overlapping curved shapes, one dark blue and one orange. To the right of this symbol, the word 'GMO' is written in a bold, dark blue sans-serif font with a small 'TM' trademark symbol. Below 'GMO', a thin horizontal line separates it from the word 'INTERNET', which is written in a larger, dark blue, spaced-out sans-serif font.

Corporate Vision 2010 Interim
2010年12月期中間決算報告

CONTENTS

- 1 ▶ IRニュースヘッドライン
- 3 ▶ 株主の皆様へ
- 5 ▶ セグメント情報
- 9 ▶ GMOインターネットグループの成長戦略
- 11 ▶ 財務データ
- 17 ▶ 会社情報
- 19 ▶ 株式情報/
株主様向けインフォメーション

1月

- **Group** GMOペイメントゲートウェイ株式会社、大手カード会社の協力のもと、ソーシャルアプリ^(※1)決済サービスを開始。株式会社サイバーエージェントなど主要アプリ開発会社に提供開始。

2月

- 2009年度決算を発表、説明会も開催。
- ソーシャルアプリ開発支援プロジェクト「アプリやろうぜ! by GMO」を開始。3月には新組織「アプリやろうぜ!」推進室も設置。
- **Group** GMOホスティング & セキュリティ株式会社のホスティングブランド「アイル」が、IaaS型パブリッククラウドサービス^(※2)「True CLOUD(トゥルークラウド)」を提供開始。
- **Group** GMOグローバルサイン株式会社、オセアニア・インド・東南アジア市場の本格的営業展開の拠点としてシンガポール法人を設立。

3月

- 第19期定時株主総会を開催。
- **Group** 「GMOとくとくポイント」の会員数が1,000万人を突破。
- **Group** 株式会社paperboy&co.が、今年最高の本・漫画をTwitterで選ぶ「ブクログ大賞」や、オンラインショッピングモール「カラメル」で、世界を一周して雑貨を買い付けるバイヤーを選び、その様子を紹介する「世界1周雑貨バイヤー」など集客に向けたコンテンツの拡充に注力。
- **Group** GMO SEOテクノロジー株式会社、ボランティア活動団体およびNPO団体への「SEO無償支援プログラム」を開始。グループの持つSEOの技術力を活用した積極的な社会貢献活動を推進。

4月

- ICANN^(※3)公認ドメイン登録サービス「お名前.com」で“.co”ドメイン商標登録者優先登録の申請受付開始。5月には先行登録を開始。
「.co」ドメイン」についての詳細は、下欄(ニュースのポイント)をご参照ください。
- **Group** GMOグローバルサイン株式会社、海外子会社の社名変更を決定。GMOインターネットグループを明示する社名で世界展開を加速。
- **Group** GMOアドパートナーズ株式会社、好調なモバイル広告市場でのさらなる成長に向けて、携帯サイト向け行動ターゲティング・コンテンツマッチ型アドネットワーク「NeoAd」を開発・運営するサノウ株式会社を完全子会社化。

5月

- **Group** GMOドメインレジストリ株式会社が、キヤノン株式会社と“.canon”ドメインの申請・運用で提携を合意。
- 2010年度第1四半期決算を発表、説明会も開催。
- **Group** GMOペイメントゲートウェイ株式会社が、株式会社コニット・株式会社電通とのスマートフォン決済事業を展開。Android携帯に対応。

6月

- **Group** GMOアドパートナーズ株式会社の100%子会社、GMOモバイル株式会社が、株式会社ゆめみの携帯向けメールマガジン「Sweetマガジン」を事業譲渡。これにより同社は、既存の携帯向けメールマガジン「メルモ」と合わせて約235万人も会員を抱える、国内最大規模の携帯向けメールマガジン配信サービスの運営会社になる。
- **Group** JWord株式会社、社会貢献の一環として各地の小学校に書籍を寄贈する「第4回 子供たちに素敵な本との出会いをプレゼントしよう!」を実施。



プロジェクト事務局長 熊谷正寿

支援内容

- 01 開発費(30万円×開発スタッフ数×開発期間)を提供
- 02 当社グループのインフラをパッケージ化した「GMOソーシャルアプリ運営キット」を提供
- 03 必要に応じて、開発・制作に集中できるオフィスや人材・技術交流機会を提供
- 04 リリース前後の集客支援・「アプリやろうぜ!」ネットワークを提供
- 05 プラットフォームとの交渉、経営サポート、将来の海外展開を支援

注目のアプリ開発支援プロジェクトが本格稼働!
「アプリやろうぜ! by GMO」
 当社グループによるソーシャルアプリ開発支援プロジェクト「アプリやろうぜ! by GMO」が、ついに本格稼働を開始。現在、急成長中のアプリ市場は、新たな才能を持ったクリエイター&エンジニアが活躍できる

る可能性を秘めています。当プロジェクトは、左記のような内容で支援を提供し、作り手がアプリ開発に専念できる環境を用意。オリジナリティのある収益を得られるアプリ開発をサポートします。

3月のプロジェクト発足後、500件を超える応募を受け、選出審査を実施。その結果、27チームが最終審査を通過し、6月からは当プロジェクトの支援のもと、開発にあつていきます。今後は、年内に27タイトルの開発完了を目指し、開発対象プラットフォームのいずれか(GREE、mixiアプリ、モバゲータウン)で順次リリースしていく予定です。



参加27チームが一堂に会した6月4日の懇親会



アプリやろうぜ 検索 <http://app-yarouze.com/>

ニュースのポイント “.co”ドメインへの期待

「co」という文字列から「company」「corporation」など会社・法人を連想させることや、一般的な「.co.jp」ドメインに似ていることから、多くの利用が期待できます。特に、「〇〇 Co.」という社名表記を行う企業にとっては、そのままのドメイン名を得られるため、この増加が予想されます。

用語解説

- ※1 **ソーシャルアプリ**: ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)上で動作する、コミュニティを基盤としたユーザーの繋がりや交流を生かしたゲーム、ツールなどのアプリケーション。
- ※2 **IaaSとパブリッククラウドサービス**: IaaSは、サーバーやネットワークなどのインフラをインターネット上のサービスとして利用できるようにしたもの。パブリッククラウドサービスとは、クラウドコンピューティングによって提供されるサービスのうち一般利用者向けに提供されるものこと。
- ※3 **ICANN**: インターネット上で使用されるドメイン名やIPアドレスなどのアドレス資源の割当管理を行う米国の非営利団体。

さらなる顧客基盤の拡大と経営の安定化を果たし、 今後は成長分野への取り組みを積極化していきます。

当第2四半期累計期間の連結業績は、WEBインフラ・EC事業、インターネットメディア事業ともに順調に推移しました。強い事業にはさらに磨きをかけるべく、徹底したサービスの差別化を行うことにより、顧客基盤はさらに拡大し、経営の安定化を果たしています。

売上高が20,459百万円と前年同期比で8%近い伸びを示したのに対し、営業利益は2,564百万円と同16%以上も上昇し、利益率を押し上げました。これは主に、SEMメディアなど利益率の高い自社媒体ビジネスへの比重が高まっていることによるものです。経常利益についても同様に伸ばしましたが、四半期純利益については、収益性の低下した事業用資産の減損損失や関係会社株式売却損の計上により、減益となりました。

成長戦略としては、グローバルポイントの普及と加盟店拡大によるEC支援、「.shop」ドメイン獲得による海外展開といった中長期的プロジェクトに加え、当期から新たにソーシャルアプリの開発支援事業を開始しました。これは、今までに蓄えてきた経営資源を昨今の成長分野であるソーシャルアプリ分野に積極的に活用していく取り組みです。当社グループは、こうしたインターネット市場の成長分野に対し、引き続き積極的にチャレンジしていくことで、成長速度の加速と持続的な拡大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループ事業へのご理解のもと、将来の発展に向けて一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

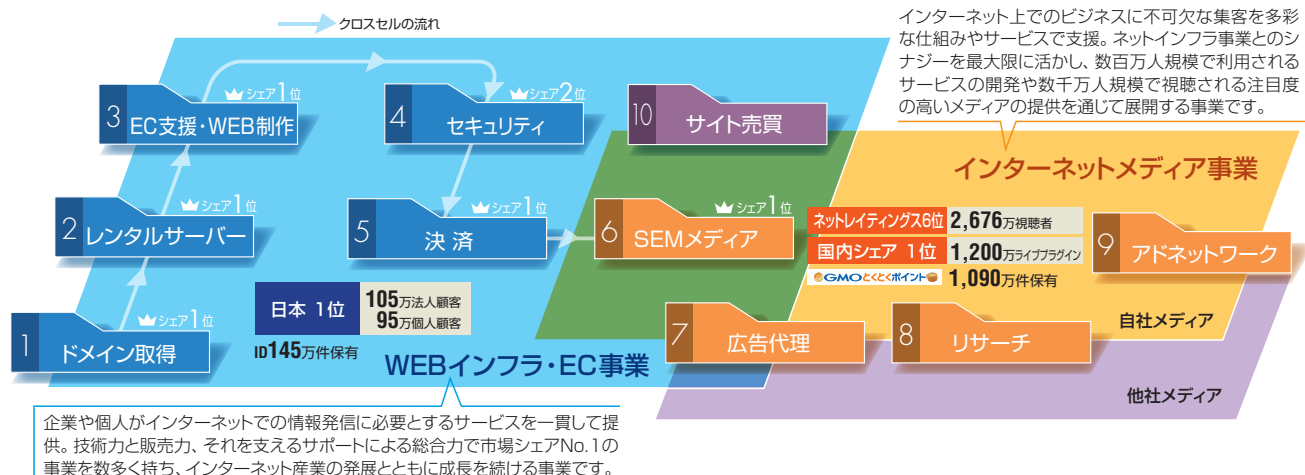
	売上高	営業利益
当第2四半期(累計)	 20,459 百万円 (前年同期比 7.8%増)	 2,564 百万円 (前年同期比 16.1%増)
通期予想	 42,000 百万円 (前期比 10.0%増)	 5,200 百万円 (前期比 11.8%増)



代表取締役会長 兼 社長
グループ代表

1 GMOインターネットグループの事業

GMOインターネットグループの事業は2つの領域に特化。インターネットのインフラを提供する「WEBインフラ・EC事業」と、集客サービスを提供する「インターネットメディア事業」です。これら全体をつなぐクロスセル展開が、高い営業効率と収益性を生み出しています。



WEBインフラ・EC事業の構成

- ドメイン取得** シェア1位
インターネット上の住所であるドメインの取得は、インターネット活用支援の起点となるサービス。ここからすべてが始まります。
- レンタルサーバー** シェア1位
WEBサイトを公開するためには情報を格納するためのサーバーが不可欠。これを自前でご用意いただくことなく、当社グループがお貸しするサービスです。
- EC支援・WEB制作** シェア1位
優れたデザインによる機能性の高いネットショップの構築や、管理ツールの提供、WEBサイトの制作をリーズナブルな料金でご提供しています。
- セキュリティ** シェア2位
個人情報や企業機密の漏洩防止など、インターネットの世界に必要な安心・安全をデータの暗号化と身元証明によって確保しています。
- 決済** シェア1位
WEBサイト上での商品購入時の決済を代行し、売上げ処理をするシステムをご提供。スムーズなECビジネスを支えています。

インターネットメディア事業の構成

- SEMメディア** シェア1位
検索ポータルサイトで、お客様のWEBサイトを検索結果の上位に表示させる技術により、集客を強力に支援。今やインターネットビジネスに不可欠なサービスです。
- 広告代理**
「Yahoo!」「Google」「mixi」など他社メディアの広告代理を行い、広告枠を仕入れています。メジャーな媒体からニッチなサイトまでお客様のご要望に合わせて幅広くご提案しています。
- リサーチ**
インターネットを利用した各種の市場調査サービスを実施します。ローコストでスピーディーな調査をメリットとしてご提供しています。
- アドネットワーク^(※)** ※旧オーバーチュア
「JUGEM」「ヤプログ!」などのブログサービスをはじめとする、GMOインターネットグループの多種多様なメディアを有効に活用して、ユーザーを広告へ誘導します。
- サイト売買**
WEBサイトを売りたい企業と買いたい企業をベストマッチング。双方にとって安心と満足が得られる取引仲介サービスをご提供しています。

2 WEBインフラ・EC事業の当第2四半期連結累計期間の概況

ドメイン登録・更新数が大幅拡大、EC支援も躍進。

法人向け5大商材の会員数と個人向けドメイン・サーバー各事業の会員数をあわせた総契約件数は、200万件を突破しました。ドメイン登録・更新数は、前期に引き続き低価格戦略によりシェア獲得に注力することで、63万件(前年同期比49.4%増)と大幅に拡大し、レンタルサーバーの契約件数も45万件(同11.6%増)と伸ばしました。EC支援のカート契約件数は4万3千件に達し、業界首位を維持し続けています。

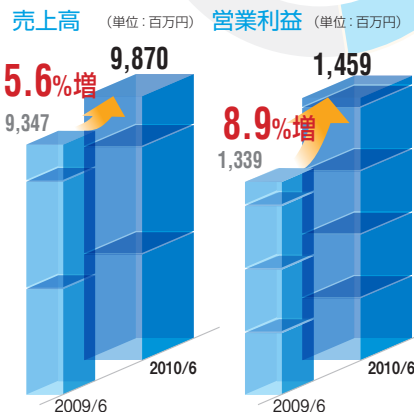
国内外で本格拡大フェーズに入ったセキュリティ事業。好調な伸びを示す決済事業。

収益面では、低価格戦略を進めているドメイン取得事業が減収となったものの、ここで獲得した件数増がクロスセルによって波及し、他の商材の好調につながっています。またセキュリティ事業は前期からの黒字基調が安定し、国内外で本格拡大フェーズに入ったと言えます。決済事業については、オンライン課金分野が、多様な決済手段を一括して提供するSaaS型「マルチペイメントサービス」の積極的な展開により好調に推移し、また、公金分野の業務実績も増加したことから、売上高が前年同期比24.1%増と5大商材中で最も大きな伸びを示しました。

以上により、WEBインフラ・EC事業合計の売上高は9,870百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は1,459百万円(同8.9%増)と、増収増益を果たしました。

(売上高構成比)

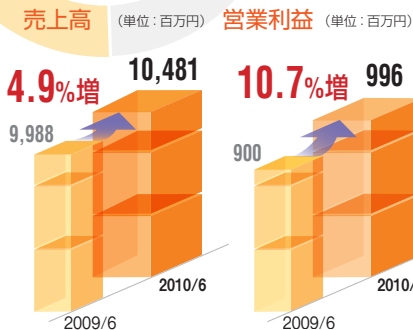
47.6%



3 インターネットメディア事業の当第2四半期連結累計期間の概況

(売上高構成比)

50.5%



SEMを成長ドライバーに、メディア・検索関連が拡大。

当社グループが保有するメディア資産の状況は、1,200万ライブプラグイン(5,800万累計配布プラグイン)と国内シェア1位を確保し、2,676万視聴者を引き続き維持しています。また、「GMOとくとくポイント」の会員数は1,090万人に達しました。

当セグメントでは、EC市場の好調を背景に、メディア・検索関連の売上高が前年同期比17.1%増と拡大しました。特にJWordやSEOなどのSEMメディアが成長を牽引しています。

広告代理事業の収益改善によって、増益を確保。

一方、広告代理事業は、昨年2月の求人広告事業の撤退により減収となりました。しかし、利益面はモバイル広告の好調などによって改善し、黒字転換を遂げることができました。その結果、当セグメントではソーシャルアプリ開発支援への投資をカバーする利益を確保しました。

以上により、インターネットメディア事業合計の売上高は10,481百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は996百万円(同10.7%増)と、増収増益を果たしました。

その他事業の当第2四半期連結累計期間の概況

営業投資有価証券の一部売却により、その他事業の収益として売上高408百万円、営業利益79百万円を計上しました。

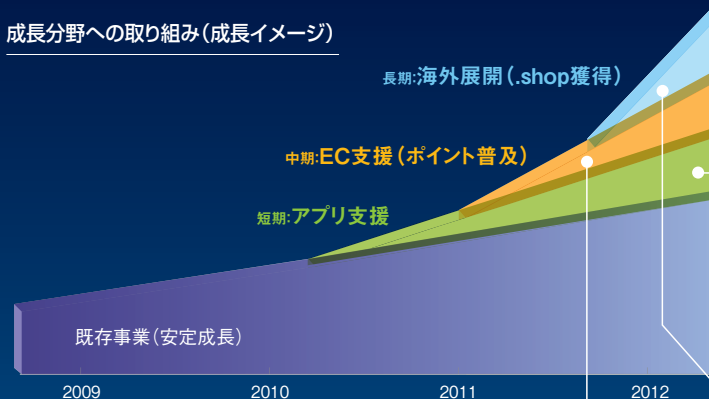
(売上高構成比)

1.9%

GMOインターネットグループの成長戦略

当社グループは、これまでに築き上げてきた既存事業による安定成長を基盤に、インターネット市場が持つ可能性を舞台とした、さらなる事業領域の拡大に挑んでいます。ここではその具体的な取り組みを、成長戦略の時間軸に沿った3つの展開に分けて解説いたします。

成長分野への取り組み(成長イメージ)



短期成長戦略

ソーシャルアプリの開発支援

当期よりスタートした「アプリやるうぜ! by GMO」は、アプリ開発において才能を発揮できるクリエイター&エンジニアのチャレンジをサポートする事業です。(詳細はp1~2をご覧ください。)

アプリの隆盛はインターネット上の情報量増加につながるものであり、国内最大のサーバー運用会社である当社グループには、これを実現するミッションがあります。そして、当社グループにはアプリのヒットに必要なサーバー運用ノウハウやトラフィック分析などの事業資産があり、これを活かした取り組みが可能です。

開発サポートを受けたアプリは、すでに9タイトル(8月末現在)がリリースされています。また、7月にはアプリ公開専用サーバー「GMO アプリクラウド」のサービス提供を開始するなど、比較的短期的な収穫を目指した成長戦略として、スピーディーに展開しています。

タイトルリリース状況(2010年7月31日現在)

リリース日	開発会社・タイトル	プラットフォーム
2010年 6月22日	(株)マルムゲームス 凸凹宇宙★トレジャーズ by GMO	GREE
2010年 7月30日	(株)スーパーアプリ ガドラン★マスター! by GMO	モバゲー タウン
	ものづくりインジャパン(株) ミラクルフィッシング by GMO	mixi モバイル

中期成長戦略

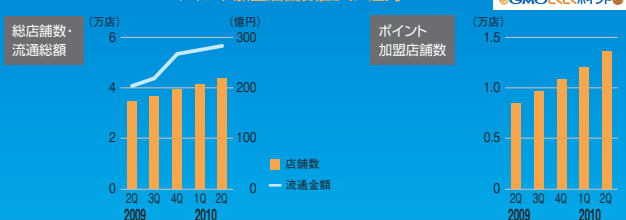
ポイントネットワークによるEC支援

EC支援は、将来の成長を担う中核的な事業です。ECショップ開設に必要なドメイン取得・カート・セキュリティ決済など全てのインフラをWEBインフラ・EC事業が提供し、集客・顧客固定化サービスをインターネットメディア事業が提供することで、EC市場の拡大を成長機会として取り込んでいきます。

前期は、独自ドメインのECショップを横断するポイントシステム「GMOとくとくポイント」の構築を完了しました。当期は4万3千件のカート契約先を対象に、ポイント加盟店を増加させ、流通総額の拡大を図っています。同時に、ポイント会員数をさらに拡大させつつ、「クチコミ.jp」や「GMOとくとくショップ」などのチャンネルを通じて加盟店への集客を増やし、売上の向上に努めています。

今後も引き続き、ポイントサービスの満足度向上とポイント流通圏の拡張を通じて、EC流通量の増大に寄与していきます。

ポイント加盟店舗数拡大に注力



長期成長戦略

「.shop」ドメイン獲得による海外展開

より長期的な展望においては、EC支援の世界展開を成長戦略上のターゲットとしています。当社グループでは、前期から新ドメイン(新gTLD)の申請・運用代行業務を開始し、各国政府や地方自治体、グローバル企業との提携を通じて、海外事業展開のための足掛かりを築こうとしています。

そして、当社グループ自ら獲得を目指しているのが、「.shop」ドメインです。ECショップビジネスにおいて、極めて大きな訴求効果が期待できるこの「.shop」ドメインを取得することで、世界中からECショップの店長を集めることが可能となります。

現在、ICANN(IPアドレスやドメイン名などを世界的に調整・管理する非営利団体)への申請に向けて、ICANNミーティングへの参加や「.shop Party」の開催など、積極的なコピー活動を実施しています。



ICANNブリュッセルにおける「.shop Party」の開催

.shop
www.dotshop.org by GMO

成長軌道への復帰というステージを終えた当社グループは、次なる飛躍に向けて、EC市場の発展を核とする次世代のインターネットソリューションを追求し、コーポレートフィロソフィーに掲げる「すべての人にインターネット」を実現してまいります。

主要連結財務データ

	2008		2009		2010	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期予想
売上高(百万円)	17,204	37,247	18,976	38,195	20,459	42,000
営業利益(百万円)	2,001	4,143	2,208	4,649	2,564	5,200
経常利益(百万円)	1,815	4,031	2,317	4,797	2,579	4,900
四半期(当期)純利益(百万円)	973	2,111	1,225	1,354	1,118	2,000
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	9.69	21.01	12.19	13.49	11.18	20.00
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	2,353	4,940	3,491	7,158	5,222	
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 1,348	△ 1,653	△ 499	△ 1,411	△ 736	
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 2,316	△ 4,144	△ 2,128	△ 3,518	△ 1,622	
	第2四半期末	期末	第2四半期末	期末	第2四半期末	
総資産(百万円)	40,650	39,752	40,073	40,922	42,729	
純資産(百万円)	12,594	13,367	14,120	14,145	14,755	
1株当たり純資産(円)	57.72	67.26	72.93	70.47	76.85	

IR Information

IRインフォメーション

当社では、株主および投資家の皆様へ迅速で公平、かつ正確でわかりやすい企業情報の発信に努めています。引き続き、皆様にご満足いただけるような情報発信を行えるよう取り組んでまいりますので、以下、最新情報をご参考いただければ幸いです。

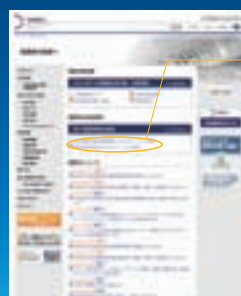
2010年10月から2011年3月までの IR活動カレンダー

以下、今後の当社のIR活動のスケジュールとなります。今後とも、当社では迅速かつ公平な情報提供を心がけてまいりますので、ご参考の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。



IRサイトのご紹介

まずは
のWEBサイトから
「投資家の皆様へ」にアクセス。



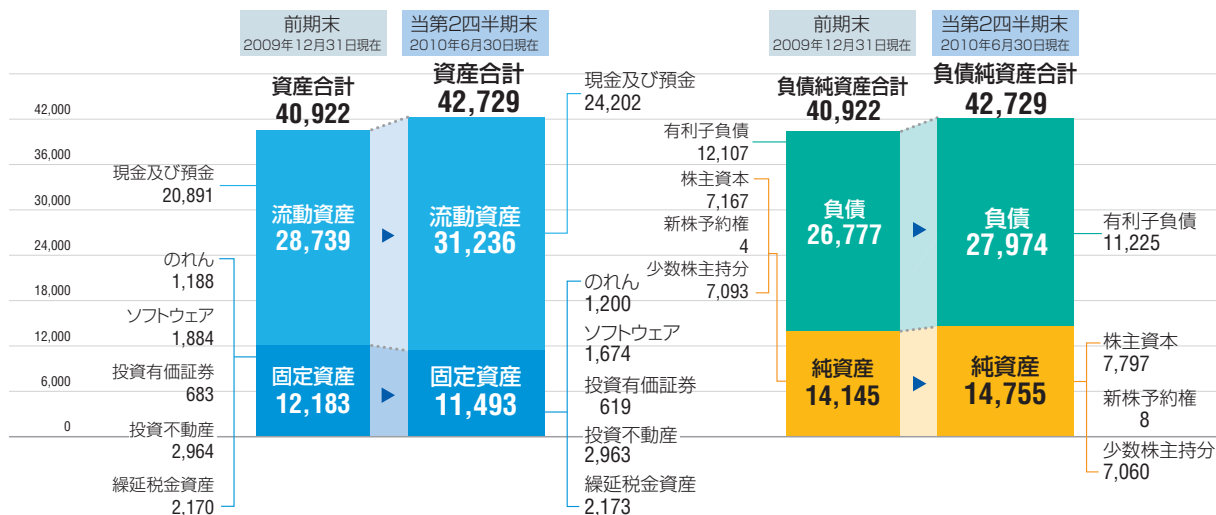
たとえば株主総会の
プレゼンテーションを
クリックすると...



株主総会の当日にご
来場の皆様に紹介さ
せていただいた資料
をご覧いただけます。

このように最新の情報をお探しの際は、
当社WEBサイトをご活用ください。

(単位：百万円)



13

連結財政状態について

当第2四半期累計期間における連結財政状態の主な変動は、流動資産については、現金及び預金が3,310百万円増加しております。

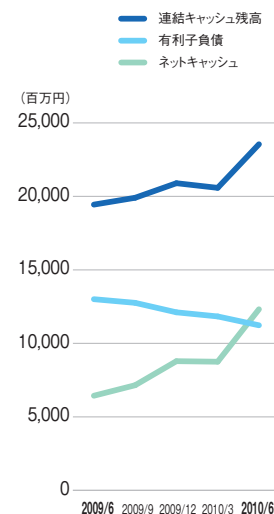
流動負債については、決済事業における代表加盟サービスの取扱額が増加したこと等により預り金が1,900百万円増加いたしました。

固定負債については、約定返済により長期借入金が682百万円減少しております。

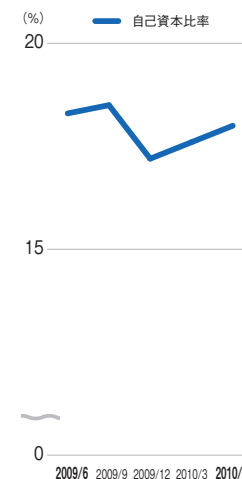
純資産については、利益剰余金が四半期純利益の計上により1,118百万円増加しております。

上記の通り、連結キャッシュ残高が増加し、有利子負債が予定通り減少したことで、財務安定性が一層向上し、自己資本比率も順調に向上しております。

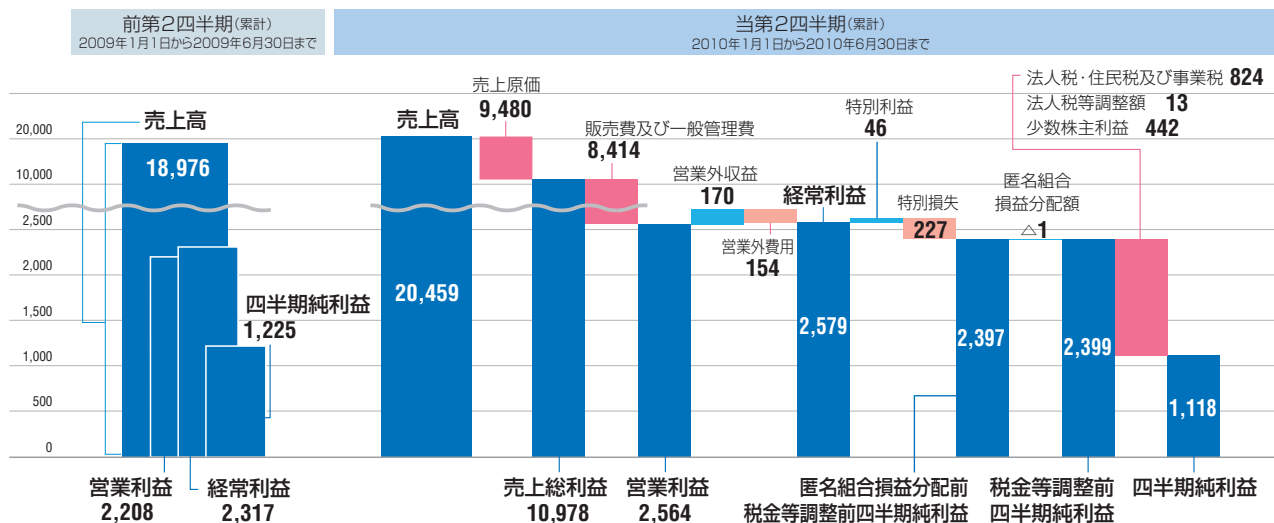
有利子負債と ネットキャッシュの推移



自己資本比率の推移



14

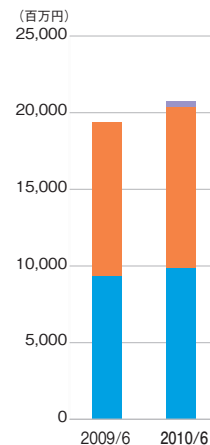


両セグメントともに増収増益

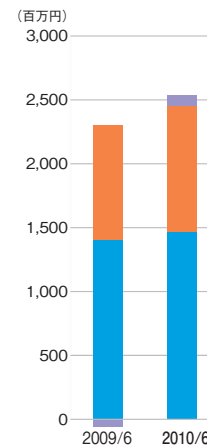
WEBインフラ・EC事業については、高品質・低価格のサービスを中心に顧客基盤を拡大し、インターネットメディア事業については、JWordやSEOなどのSEMメディアを中心に堅調に推移し、ともに増収増益を果たしました。

なお、当第2四半期累計期間においては、投資有価証券売却益39百万円等を特別利益に計上したものの、収益性の低下した事業用資産等の減損損失56百万円、関係会社株式売却損61百万円、固定資産除却損41百万円等を特別損失に計上した結果、四半期純利益は1,118百万円と前年同期比8.7%の減少となりました。

売上高



営業利益



■ WEBインフラ・EC事業
■ インターネットメディア事業
■ その他事業

※その他事業にはベンチャーキャピタル事業が含まれます。

会社概要

■ 商号	GMOインターネット株式会社
■ 設立年月日	1991年5月24日
■ 本社所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
■ 資本金	12億7,683万円
■ 従業員数	325名
■ グループ従業員数	1,537名

役員

代表取締役会長兼社長 グループ代表	熊谷正寿	取締役	有澤克己
専務取締役	安田昌史	取締役	新井輝洋
専務取締役	西山裕之	取締役	高橋信太郎
専務取締役	宮崎和彦	取締役	山下浩史
常務取締役	伊藤正	取締役	佐藤健太郎
取締役	青山満	常勤監査役	武藤昌弘
取締役	松原賢一郎	監査役	木下学
取締役	橘弘一	監査役	岩倉正和
取締役	菅谷俊彦	監査役	小倉啓吾

上場連結子会社

- **GMOペイメントゲートウェイ株式会社**
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
証券コード 3769
- **GMOホスティング&セキュリティ株式会社**
上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ
証券コード 3788
- **GMOアドパートナーズ株式会社**  P.18
上場証券取引所 大阪証券取引所ヘラクレス
証券コード 4784
- **株式会社paperboy&co.**
上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
証券コード 3633

17

グループ会社の横顔

4

GMOアドパートナーズ株式会社

広告流通の効率化と、市場のさらなる成長に貢献。



GMOアドパートナーズ株式会社は、インターネット広告市場における唯一の「中堅中小代理店向け総合メディアレップ(媒体卸)」です。2006年から中堅中小の広告代理店向けにネット参入支援セミナーを開催し、営業支援を通じて、中堅中小代理店ネットワークを構築してきました。

また、PC・モバイル双方のインターネット広告、SEMなど全ての商品を取り扱っている点も大きな特色です。PC領域の大手メディアレップである株式会社サイバー・コミュニケーションズ、そしてモバイル領域の大手メディアレップである株式会社ディーツーコミュニケーションズとの業務提携を通じて、市場における現在のポジションを確立してきました。

最近の事業状況としては、2009年2月に採算が悪化していた求人広告事業から撤退し、インターネット広告事業に集中するとともに、自社およびグループ開発商品の育成・販売を強化することで、大幅な利益改善を遂げています。

今後は、市場のニーズ・トレンドを先取りした独自商品の開発に注力し、広告主へのソリューション提供のみならず、インターネットメディアへの提案力も強化し、広告流通の効率化とさらなる市場成長に貢献できるよう事業を推進してまいります。



gmo-ap
http://www.gmo-ap.jp/

18

株式の状況

■ 発行可能株式総数	普通株式 270,000,000 株 第1種優先株式 130,000,000 株
■ 発行済株式総数	普通株式 100,003,441 株
■ 株主数	21,898 名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社熊谷正寿事務所	34,100	34.09
熊谷正寿	12,686	12.68
ヤフー株式会社	5,054	5.05

所有者別株式数



株主優待制度のお知らせ

毎年6、12月末日の株主名簿に記載または記録された単元株主様に対し、GMOとくとくポイント加盟店(GMOインターネットグループが主催するショッピングモール(カラメル、GMOとくとくショップ、アイテムポスト))共通お買物券2,000円分のポイントを贈呈させていただきます。

ご利用いただけるサービスその他詳細につきましては、株主様宛に送付しております、「株主優待券(ご利用説明書)」に記載の内容をご覧ください。



GMOとくとくポイントWEBサイト

GMOとくとくポイントの詳細につきましてはこちらからご覧ください。

GMOとくとくポイント

検索

<http://point.gmo.jp/>

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主 確定日	12月31日
中間配当金受領株主 確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

電子公告により行う
公告の方法 公告掲載URL <http://www.gmo.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取請求 住所・氏名等の変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人 手続き書類のご請求方法 ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/

(*)特別口座に登録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選べない場合があります。

証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

GMOインターネットのWEBサイトをご覧ください。



GMOインターネット

検索

<http://www.gmo.jp/>



クマガイコム

検索

<http://www.kumagai.com/>

当社のWEBサイトでは、個人株主・投資家の皆様への情報をはじめとして、サービス情報や企業情報などについて常に最新の情報をご提供しております。

また、当社WEBサイトとともに当社代表取締役会長兼社長 グループ代表 熊谷正寿の生の声をお届けするブログ、「クマガイコム」もご覧ください。

お問合せ先

GMOインターネット株式会社

電話:03-3461-2222 e-mail:ir@gmo.jp

GMOインターネットグループは、
特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・
ジャパンの活動を支援しています。

ChildFund
Japan

<http://www.childfund.or.jp/>

チャイルド・ファンド・ジャパンとは？

1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす
子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指
した活動をしています。活動を通じて人と人が出
会い、お互いに理解を深め、つながることを大切
にしています。現在、フィリピン、ネパール、スリラ
ンカの3ヶ国の子どもたちを支援しています。



この報告書は、適切に管理された森林からの原料を含むFSC認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。